

TRAIL

いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」

第89号 令和7年6月16日発行

いわき市産業振興部

【全国景気動向】“緩やかな回復”が持続！ 先行きでは米国の関税政策の動向と国内物価の上昇などが“下押しリスク”！

● 令和7年第I四半期の実質GDP(季節調整値。1次速報値*。5/16)は前期比0.2%減と、令和6年第I四半期以来、4四半期ぶりのマイナス成長となった(年率換算では0.7%減)。個人消費は横這い(食料品のマイナス等)、設備投資の微増(研究開発やソフトウェア投資等)、輸出の4四半期ぶりのマイナス(米関税措置前の駆け込み需要)などによる。

区分	前期	今期
GDP(実質)	0.6	▲0.2
(年率換算)	(2.4)	(▲0.7)
個人消費	0.1	0.0
設備投資	0.8	1.4
政府消費	0.3	▲0.0
公共投資	▲0.7	▲0.4
輸出	1.7	▲0.6
輸入	▲1.4	2.9

今期は速報値。前期は確定値。

*2次速報値(6/9)は▲0.0%(年率▲0.2)に上方修正。

● 「月例経済報告(5月)」の基調判断(5/22)は、4月からの表現を維持した。米国の通商政策等による不透明感、実体経済上の変化には至っていない。輸入がアジアからの輸入で“横這い”から“持ち直し”に転じた。先行きは、米国の通商政策の動向と国内物価上昇の影響が、景気の下押しリスク、とした。

月例経済報告(R7/5)の概要

基調判断	穏やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる
個人消費	持ち直しの動き
設備投資	持ち直しの動き
住宅投資	おおむね横ばい
輸出	持ち直しの動き
輸入	持ち直しの動き
生産	横ばい
企業収益	改善している
雇用情勢	改善の動き
消費者物価	上昇している
先行き判断	下振れリスクが高まっている

注：太字は対前月で修正された内容。

目次

【全国景気動向】“緩やかな回復”が持続！ 先行きでは米国の関税政策の動向と国内物価の上昇などが“下押しリスク”！

【いわき市景気動向】“下降気味”は“一旦小休止”！ 先行きの見通しは暗い！

【経済・景気四方山話】全国6件、いわき発1件

I 経済・景気調査：令和7年第I四半期(1~3月)

1. 経済の動き(主要部門別・主要経済データ) …… 3

2. 景気の動き(景気動向指数) …… 9

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査：令和7年5月時点 …… 16

【いわき市景気動向】“下降気味”は“一旦小休止”！ 先行きの見通しは暗い！

“下降気味”が続いてきたいわき市の景気は、今期に至って“一旦小休止”の状態に。なお続く物価高と忍び寄る米国の関税政策の成り行きを憂慮してか、先行きの見通しは暗い。これを映し「景気ウォッチャー調査」(R7/5)における“先行きDI”は、全分野で判断の境目となる50割割れしている。

● 経済・景気調査

【需要動向】大型店舗販売の前年同期比はマイナスで微減。これ以外の項目はプラス。ただ観光施設利用者はプラスながら伸び率は微増。

【企業動向】卸売市場取扱を除く項目がプラス。プラスのうち法人市民税は大幅増。また信用協会代位弁済は前年同期に比べ減少(=状況好転)。

【雇用動向】新規求人倍率、有効求人倍率とも低倍率で、雇用情勢に陰りがみとれる

● 景気ウォッチャー調査(令和7年5月)

“現状DI”の全業種は39.8割で2月調査よりわずかに下落。分野別で家計はほぼ前期並み。企業と雇用が大幅に下落。

“先行きDI”は、全業種のほとんどが40割台で前期比はマイナス。特に飲食の下落幅が大きい。

“自由意見”のほとんどは、物価高の悪影響に関するもの。

いわき市の動向(R7/1-3月)

区分	前期%	今期%
需要動向		
個人		
大型店舗販売	▲1.8	▲2.4
自動車登録	▲21.3	15.0
建築		
新設住宅	▲42.4	27.7
公共工事	136.5	199.0
観光施設利用者	11.5	1.6
企業動向		
生産		
卸売市場取扱	▲0.2	▲2.3
輸入通関実績	26.5	21.2
協会代位弁済	49.5	15.3
企業		
法人市民税	▲9.9	32.6
企業倒産件数	6件	5件
雇用		
新規求人倍率	2.31倍	1.60倍
有効求人倍率	1.25倍	1.18倍

注：前年同期比。企業倒産件数は各期の合計。雇用はR6/12月とR7/3月時点。

景気ウォッチャー調査抜粋(R7/5)

区分	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	引差	今回	引差
全業種	39.8	▲3.2	40.6	▲7.4
家計	41.3	0.1	41.3	▲7.7
小売	37.5	▲5.5	42.7	▲3.3
飲食	45.0	1.2	40.0	▲16.3
サービス	46.7	7.0	41.7	▲9.8
住宅	40.0	5.0	35.0	▲15.0
企業	35.4	▲17.4	37.5	▲6.9
雇用	33.3	▲10.5	41.7	▲2.1

(産業チャレンジ課)

【経済・景気四方山記事】

(原情報の要約、意識や筆者の解釈・所感等を含む)

● “女性が消える町”、現実味を帯びる！

地方から女性の流出が止まらない。その理由は、①「男女間の賃金格差が若い女性の地方からの流出につながっている」(内閣府調査)、②出産・育児の環境も整わない。例えば「男は仕事、女は家庭」の価値観の割合はまだ高い(世論調査・内閣府)、③地方議会での女性が少ない。女性の割合は、町村会議で 13.6%、政令指定都市市議会で 22.9%と低い(「男女共同参画白書。R5 年末」)、などである。出産適齢期の女性が流失した地方は人口の維持が難しくなることもあり、女性に選ばれる町になることが求められている。(R7/3/25・26 日経新聞)

● 地域おこし協力隊、R8 年までに隊員数 1 万人に！

総務省は、4/4、R6 年度の地域おこし協力隊(地域に移住して地域活性化を担う)の隊員数が 7,910 人と過去最多を更新したと発表した。R1~R6 年度に任期を終えた 8,034 人のうち 5,539 人(68.9%)が赴任先か近隣市町村に定住した。隊員は地域活性化と移住促進の両面で効果が出ており、受け入れ自治体が増えた。同省は、目標として R8 年までに 1 万人までに増やす。地域に馴染めず任期途中でやめる人を減らすためサポート体制を充実させる。(R7/4/5 日経新聞)

● 地方創生は、行政維持に軸足を！

地方の人口減少は一段と加速している。こうした中で移住支援等地域の活性化策に目が向きがちであるが、行政の執行をどう確保するか軸足を移すべきである。総務省の調査では、“条例改正への対応が難しい”、“介護認定の訪問調査ができない”、“公共工事の設計が適正か判断出来ない”等の声が上がっている。これへの処方箋は、都道府県や近隣の中核的な市が業務を肩代わりしたり、人員を派遣したりすること。このような広域連携は観光振興など利害調整がしやすい分野でみられるが、今、地方政策に求められるのは、国や都道府県が仲介役とする広域連携の枠組みの中で、人的、財政的に支援することだろう。(R7/4/16 日経新聞 “社説”)

● 40 年に GDP980 兆円構想！

経済産業省は、4/20 の産業構造審議会で、40 年までの日本企業の国内設備投資の 200 兆円の官民目標を実現すれば、名目 GDP が 980 兆円ほどに拡

大するとの内容とする「産業構造ビジョン 2040」をまとめる。前提となる名目 GDP 成長率は年 3%、実質 GDP 成長率は年 1.7%とした。主な成長分野は、①省力化につながるロボット、②情報通信機器などの DX(デジタルトランスフォーメーション)、③観光、④小売り・卸売り、⑤医療・介護等があげられている。(R7/4/22 日経新聞)

● “多様な自然、恵みもたらす” —NIKKEI ブルーオーシャン・フォーラム、地方創生分科会提言—

表題のフォーラム(日経新聞社等主催)では、海洋保全に向けての日本の強みを広げることが重要との認識を示した。また地方創生分科会では、以下を提言として取りまとめた。①日本の経済の拠点地域を海の視点から見直す、②多様な日本の自然で生まれた価値を認識する、③海洋生物資源、沿岸の物質環境管理の歴史的経験を技術として高める、④地域に潜在する若手の活用の萌芽を育てる、⑤気象変動の目撃者と当事者である、漁業者の知見に注目する、⑥自然エネルギーの活用の潜在力を醸成する。(R7/4/25 日経新聞)

● “シビックテック”による地域課題解決！

“シビックテック”(Civic Tech)というのは、市民がテクノロジーを活用し行政と連携して行政の問題や地域課題を解決する仕組みのこと。今、米国で始まったこの仕組みが世界に浸透しつつある。「東北活性研」の春季号はこの問題を特集として取り上げた。この中で、“シビックテック”の適用分野は、従来の安全・安心・防災、医療・介護・健康、モビリティ・アクセスに加え、地域資源管理、地域活性化などの分野に拡大しているとしている。(R7/4「東北活性研」2020 春季号・特集。東北活性化センター刊)

● 【いわき市発】平地区中心市街地に地域おこし協力隊を配置！

いわき市では、令和 7 年度から平地区中心市街地に初めて地域おこし協力隊 2 名を配置する。協力隊員それぞれが、SNS 等を活用した平地区中心市街地の魅力向上とイベント等の情報発信に関するミッション(役割使命)を掲げ、その達成に邁進してもらおう。これにより既存のまちづくりプレイヤーの活動と相俟って、公共空間の利活用や空き店舗等の遊休不動産解消に向けた活動が促進され、平地区中心市街地のエリア価値向上が図られることになる。(R7/5/27 産業チャレンジ課)

東日本国際大学名誉教授 大川信行

I 経済・景気調査：令和7年第 I 四半期（1～3月）

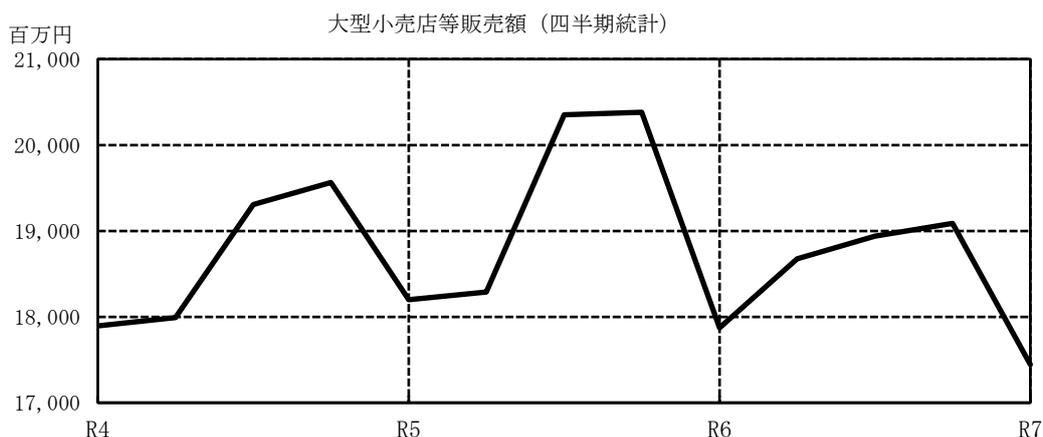
1 いわき市の経済の動き

（1） 主要部門の動向（令和7年第 I 四半期（1～3月）の状況）

① 需要動向

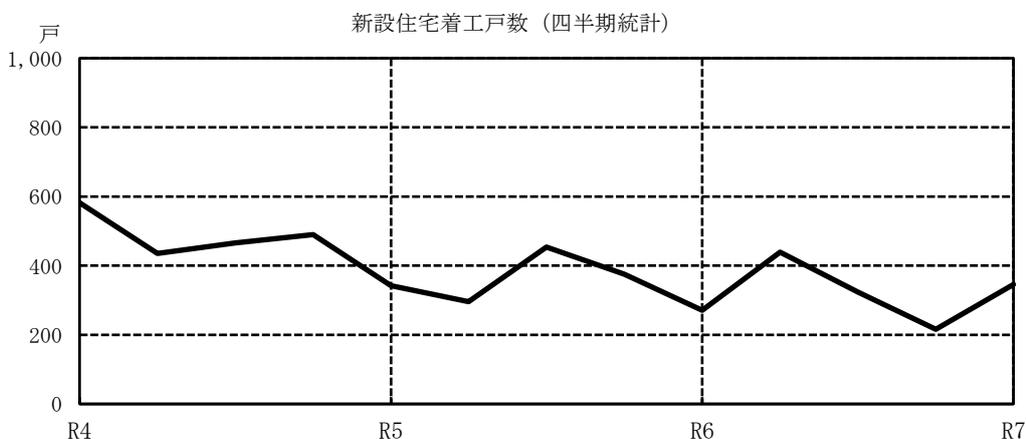
【個人消費】 ○ 第 I 四半期（1～3月）の大型小売店等販売額は約174億円（前年同期比2.4%の減少）となり、3四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 自動車新規登録台数は4,612台（前年同期比15.0%の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は346戸（前年同期比27.7%の増加）となり、3四半期振りに前年の水準を上回った。

○ 公共工事等受注額は約241億円（前年同期比199.0%の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。

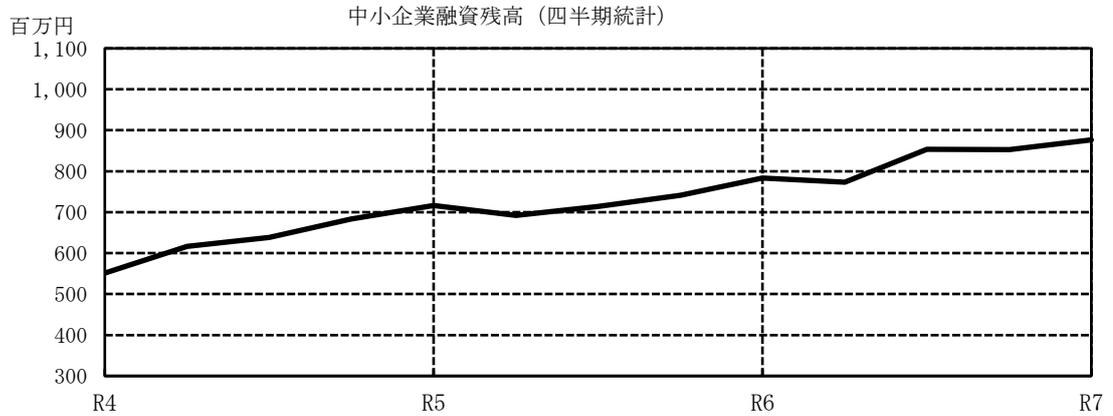


【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、69.9（前年同期比1.6%の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。

② 企業動向

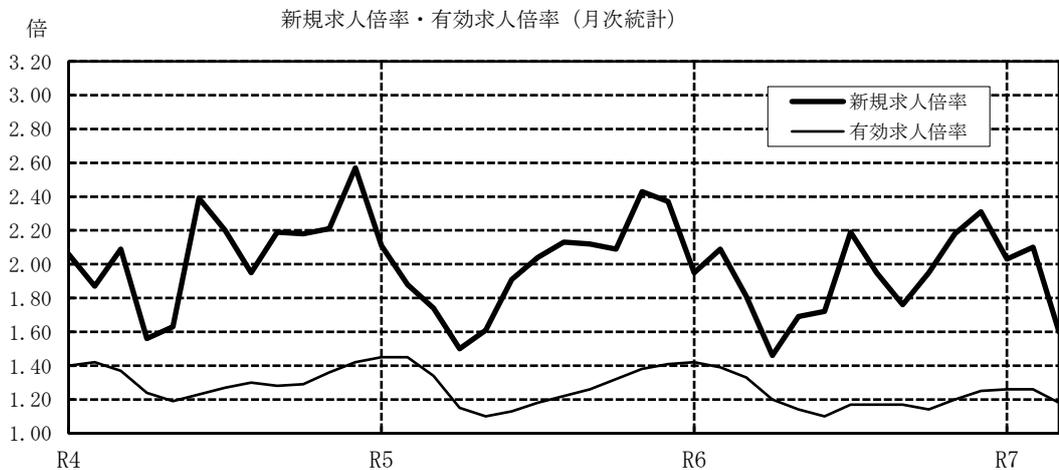
- 第 I 四半期（1～3月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約34億円（前年同期比2.3%の減少）となり、5四半期連続で前年の水準を下回った。

- 【企業活動】**
- いわき市中小企業融資残高は約8.8億円（前年同期比12.0%の増加）となり、令和4年第2四半期以降、12四半期連続で前年の水準を上回った。
 - 負債1千万円以上の企業倒産件数は5件（前年同期比37.5%の減少）となり、8四半期振りに前年の水準を下回った。



③ 雇用情勢

- 【雇 用】**
- 3月の新規求人倍率は1.60倍（前年同月より0.21ポイントの低下）となり、3ヵ月振りに前年の水準を下回った。
 - 3月の有効求人倍率は1.18倍（前年同月より0.15ポイントの低下）となり、10ヵ月連続で前年の水準を下回った。
 - 第 I 四半期（1～3月）の雇用保険受給者実人員は3,070人（前年同期比0.2%の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。



(2) 主要経済データ

区分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小売店等販売額	前年同期比	自動車新規登録台数	前年同期比	新設住宅着工戸数	前年同期比	建築確認申請受付件数	前年同期比	公共工事等受注額	前年同期比	観光施設利用者指数	前年同期比	入湯税調定人員	前年同期比
(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)	(H24・四半期平均=100)	(%)	(人)	(%)	
【年次統計】														
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3
令和4年	74,755	-0.4	15,143	-7.2	1,973	3.2	1,176	9.2	34,321	-60.9	271	53.1	407,735	35.3
令和5年	77,220	3.3	17,639	16.5	1,467	-25.6	1,310	11.4	25,367	-26.1	352	30.1	548,789	34.6
令和6年	74,574	-3.4	15,574	-11.7	1,250	-14.8	1,344	2.6	28,591	12.7	344	-2.5	550,533	0.3
【四半期統計】														
令和5年 II	18,288	1.6	3,935	25.8	296	-32.0	357	21.4	6,235	9.7	70.7	12.9	122,181	41.2
III	20,353	5.4	4,114	12.9	454	-2.6	385	22.6	7,307	-45.1	110.1	15.7	139,990	14.1
IV	20,381	4.2	4,492	18.9	375	-23.5	327	-0.6	8,412	75.7	110.1	57.8	143,904	30.8
令和6年 I	17,873	-1.8	4,012	-21.3	271	-20.8	314	30.3	8,071	136.5	68.7	11.5	131,586	-7.8
II	18,675	2.1	3,433	-12.8	439	48.3	354	-0.8	7,461	19.7	75.5	6.8	126,066	3.2
III	18,939	-6.9	4,232	2.9	324	-28.6	359	-6.8	9,004	23.2	120.8	9.7	147,307	5.2
II	19,088	-6.3	3,939	-12.3	216	-42.4	317	-3.1	4,054	-51.8	78.7	-28.5	145,574	1.2
令和7年 I	17,444	-2.4	4,612	15.0	346	27.7	335	6.7	24,131	199.0	69.9	1.6	127,397	-3.2
【月次統計】														
令和5年1月	6,134	2.6	1,442	10.8	89	-72.4	82	13.9	216	-87.5	19.0	16.4	58,444	47.6
2月	5,639	0.8	1,548	12.3	98	-21.6	91	33.8	684	-74.2	17.2	83.9	35,888	9.7
3月	6,425	1.6	2,108	10.1	155	15.7	68	-31.3	2,513	-59.2	25.5	43.5	48,382	199.6
令和5年4月	6,058	2.2	1,292	23.4	87	-61.2	102	-8.1	1,234	-27.2	20.1	20.3	45,605	66.0
5月	6,235	1.9	1,234	27.5	66	-2.9	113	79.4	491	209.5	29.2	10.4	37,374	29.2
6月	5,995	0.8	1,409	26.6	143	0.0	142	18.3	4,510	17.7	21.3	10.0	39,202	30.2
7月	6,809	4.5	1,315	8.0	123	-34.6	146	80.2	2,775	-39.9	29.7	14.3	36,886	17.2
8月	7,148	6.1	1,176	18.3	119	19.0	133	13.7	1,479	-64.4	54.8	25.0	40,640	9.3
9月	6,396	5.7	1,623	13.4	212	19.1	106	-8.6	3,053	-32.9	25.6	1.2	62,464	15.5
10月	6,372	1.6	1,645	36.1	110	-25.2	110	-5.2	4,749	84.0	29.7	18.5	46,919	5.9
11月	6,112	-1.0	1,585	13.7	150	25.0	120	3.4	2,046	74.7	54.8	151.7	49,675	14.7
12月	7,897	10.9	1,262	7.5	115	-48.4	97	0.0	1,617	56.0	25.6	11.6	47,310	111.4
令和6年1月	5,941	-3.1	1,203	-16.6	92	3.4	92	12.2	1,594	638.0	21.3	12.2	43,048	-26.3
2月	5,741	1.8	1,184	-23.5	84	-14.3	98	7.7	383	-44.0	20.5	19.6	40,149	11.9
3月	6,190	-3.7	1,625	-22.9	95	-38.7	124	82.4	6,094	142.5	26.9	5.5	48,389	0.0
4月	6,086	0.5	1,124	-13.0	174	100.0	124	21.6	1,418	14.9	22.1	9.9	52,099	14.2
5月	6,318	1.3	1,076	-12.8	126	90.9	129	14.2	1,265	157.6	28.9	-0.9	38,612	3.3
6月	6,271	4.6	1,233	-12.5	139	-2.8	101	-28.9	4,778	5.9	24.4	14.4	35,355	-9.8
7月	6,186	-9.2	1,479	12.5	81	-34.1	126	-13.7	2,918	5.1	31.9	7.5	41,179	11.6
8月	6,848	-4.2	1,152	-2.0	119	0.0	123	-7.5	1,905	28.8	57.7	5.3	45,341	11.6
9月	5,905	-7.7	1,601	-1.4	124	-41.5	110	3.8	4,182	37.0	31.2	21.8	60,787	-2.7
10月	5,923	-7.0	1,431	-13.0	47	-57.3	118	7.3	2,355	-50.4	26.9	-9.4	46,815	-0.2
11月	5,821	-4.8	1,390	-12.3	87	-42.0	103	-14.2	1,102	-46.2	27.1	-50.6	50,690	2.0
12月	7,344	-7.0	1,106	-12.4	82	-28.7	96	-1.0	598	-63.0	24.7	-3.5	48,069	1.6
令和7年1月	5,716	-3.8	1,367	13.6	76	-17.4	109	18.5	226	-85.8	22.5	5.3	43,430	0.9
2月	5,510	-4.0	1,452	22.6	110	31.0	105	7.1	535	39.7	20.3	-1.0	38,208	-4.8
3月	6,218	0.5	1,793	10.3	160	68.4	121	-2.4	23,370	283.5	27.1	0.7	45,759	-5.4
出典:	いわき市産業 チャレンジ課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支部		いわき市産業 チャレンジ課(市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化)		いわき市市民 税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合、速報値を含む。
四半期統計において I は1～3月、II は4～6月、III は7月～9月、IV は10～12月を示す。

区 分	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高		小名浜港 輸入通関 実績		いわき 市中小 企業融 資残高		いわき 市中小 企業融 資利率		信用保 証承諾 額		信用保 証協会 代位弁 済		法人市 民税調 定額	
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同月比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比
年月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】														
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	4,199	2.4
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	3,312	-21.1
令和4年	14,883	6.8	624,189	75.8	622	5.0	1.77	-0.3	21,406	-42.2	738	234.8	3,577	8.0
令和5年	16,040	7.8	530,374	-15.0	716	15.0	1.62	-0.2	26,677	24.6	932	26.3	3,359	-6.1
令和6年	14,866	-7.3	519,144	-2.1	816	14.0	2.00	0.4	25,846	-3.1	1,675	79.8	3,298	-1.8
【四半期統計】														
令和5年 II	3,740	13.3	133,582	-16.9	692	12.3	1.21	-0.12	4,815	38.7	117	132.1	985	-17.8
III	4,011	8.1	140,384	-15.8	714	11.8	1.99	-0.04	6,906	16.8	255	5.2	857	17.9
IV	4,843	2.6	103,454	-46.6	741	8.4	1.28	-0.50	6,450	17.5	337	86.7	1,016	-14.8
令和6年 I	3,440	-0.2	104,991	-31.4	783	9.4	1.97	-0.02	6,270	-26.3	334	49.5	452	-9.9
II	3,442	-8.0	145,149	8.7	774	11.8	1.98	0.77	6,120	27.1	254	117.3	1,060	7.6
III	3,302	-17.7	138,088	-1.6	854	19.6	1.90	-0.09	6,803	-1.5	612	140.1	900	5.0
II	4,682	-3.3	130,916	26.5	853	15.0	2.16	0.88	6,654	3.2	475	41.1	886	-12.8
令和7年 I	3,360	-2.3	127,219	21.2	877	12.0	1.74	-0.22	5,864	-6.5	385	15.3	599	32.6
【月次統計】														
令和5年1月	1,089	6.3	50,374	33.0	700	26.8	2.00	0.05	1,529	26.1	2	-95.6	91	-17.7
2月	1,072	9.9	45,458	67.0	733	35.2	2.20	-	2,294	42.1	90	-56.5	125	-5.4
3月	1,284	11.8	57,122	51.0	715	27.8	1.76	-0.33	4,682	26.2	132	895.8	285	32.3
令和5年4月	1,217	6.7	38,877	-28.9	701	21.0	1.03	-0.18	1,116	20.4	1	-	151	32.6
5月	1,260	15.3	47,170	-7.5	694	10.2	1.55	-0.13	1,655	32.9	116	205.3	304	7.5
6月	1,264	18.3	47,535	-13.8	681	6.5	1.05	-0.05	2,044	57.4	0	-100.0	530	-33.9
7月	1,375	7.8	42,781	-7.5	679	7.4	2.10	-0.02	2,799	64.4	215	110.1	400	16.8
8月	1,334	4.4	42,704	-29.1	703	11.8	1.95	-0.25	2,343	66.1	33	678.3	370	25.6
9月	1,302	12.4	54,899	-8.9	760	15.9	1.92	0.15	1,764	-37.0	7	-94.8	86	-3.2
10月	1,303	3.7	19,947	-70.5	750	9.8	1.50	-0.20	1,862	31.1	158	12.5	138	22.6
11月	1,334	4.2	33,244	-40.9	731	8.5	1.28	-0.93	1,565	4.6	148	2,037.8	792	-20.3
12月	2,206	1.0	50,263	-28.2	743	7.0	1.05	-0.38	3,024	17.6	30	-7.6	86	-1.4
令和6年1月	1,038	-4.7	35,018	-30.5	787	12.4	1.70	-0.30	1,776	16.2	217	10,712.8	103	13.1
2月	1,170	9.2	28,343	-37.7	776	5.8	2.00	-0.20	2,033	-11.4	91	1.5	124	-0.7
3月	1,232	-4.1	41,630	-27.1	787	10.0	2.20	0.44	2,460	-47.4	25	-80.7	225	-21.2
4月	1,210	-0.6	54,637	40.5	755	7.7	1.89	0.86	1,412	26.6	56	7,180.1	157	3.9
5月	1,157	-8.2	39,120	-17.1	771	11.2	2.20	0.65	1,840	11.2	60	-48.2	310	2.0
6月	1,075	-14.9	51,392	8.1	794	16.7	1.86	0.81	2,867	40.3	138	-	594	11.9
7月	1,252	-9.0	46,180	7.9	850	25.2	2.05	-0.05	2,653	-5.2	448	108.3	440	10.1
8月	868	-34.9	48,594	13.8	857	22.0	2.20	0.25	1,651	-29.5	133	305.2	350	-5.6
9月	1,182	-9.2	43,314	-21.1	855	12.5	1.44	-0.48	2,499	41.7	31	341.7	110	27.3
10月	1,195	-8.3	51,063	156.0	857	14.2	2.20	0.70	2,190	17.6	179	13.3	112	-18.7
11月	1,336	0.1	37,802	13.7	857	17.3	2.20	0.93	1,996	27.6	103	-30.4	689	-13.0
12月	2,151	-2.5	42,051	-16.3	843	13.5	2.07	1.02	2,467	-18.4	193	539.4	85	-1.5
令和7年1月	1,078	3.9	52,449	49.8	863	9.7	1.64	-0.06	1,660	-6.6	41	-81.1	105	1.4
2月	1,077	-7.9	37,805	33.4	856	10.3	1.64	-0.36	2,115	4.1	200	119.3	116	-6.2
3月	1,205	-2.2	36,965	-11.2	911	15.8	1.96	-0.24	2,088	-15.1	144	467.6	378	68.3
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）	財務省貿易統計			いわき市産業チャレンジ課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき市市民税課（法人税割）	

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	企業動向									
	倒産				中小企業DI調査					
	企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比						
年月	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】										
令和2年	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
令和4年	13	30.0	1,714	24.7	-	-	-	-	-	-
令和5年	16	23.1	4,649	171.2	-	-	-	-	-	-
令和6年	31	93.8	5,110	9.9	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】										
令和5年 II	5	400.0	2,871	501.9	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	165	20.4	-	-	-	-	-	-
IV	6	0.0	1,518	190.8	-	-	-	-	-	-
令和6年 I	8	166.7	1,480	1,457.9	-	-	-	-	-	-
II	7	40.0	1,982	-31.0	-	-	-	-	-	-
III	10	400.0	1,081	555.2	-	-	-	-	-	-
II	6	0.0	567	-62.6	-	-	-	-	-	-
令和7年 I	5	-37.5	395	-73.3	-	-	-	-	-	-
【月次統計】										
令和5年1月	0	-100.0	0	-	-	-	-	-	-	-
2月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
3月	3	50.0	95	-55.4	-30.0	-40.0	-22.2	-25.0	0.0	-25.3
令和5年4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
6月	5	400.0	2,871	501.9	-14.2	-10.0	-18.2	-70.0	-11.1	-22.1
7月	1	0.0	15	-88.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	150	1,400.0	-	-	-	-	-	-
9月	0	-	0	-	-23.4	-37.5	-27.3	-50.0	-12.5	-28.3
10月	2	-33.3	270	22.7	-	-	-	-	-	-
11月	3	50.0	516	76.7	-	-	-	-	-	-
12月	1	0.0	732	7,220.0	-24.1	16.6	0.0	-44.4	0.0	-16.6
令和6年1月	3	-	320	-	-	-	-	-	-	-
2月	4	-	650	-	-	-	-	-	-	-
3月	1	-66.7	510	436.8	-6.9	0.0	-41.7	-20.0	-12.5	-14.7
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	5	-	1,390	-	-	-	-	-	-	-
6月	2	-60.0	592	-79.4	-18.7	-44.5	0.0	-11.1	-14.3	-17.7
7月	3	200.0	129	760.0	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	60	-60.0	-	-	-	-	-	-
9月	6	-	892	-	-6.5	0.0	-15.4	0.0	-11.1	-7.2
10月	3	50.0	321	18.9	-	-	-	-	-	-
11月	3	0.0	246	-52.3	-	-	-	-	-	-
12月	0	-100.0	0	-100.0	-14.8	-11.1	-16.6	-12.5	0.0	-12.3
令和7年1月	2	-33.3	243	-24.1	-	-	-	-	-	-
2月	3	-25.0	152	-76.6	-	-	-	-	-	-
3月	0	-100.0	0	-100.0	-25.0	-25.0	-14.3	-27.3	-10.0	-21.3
出典：	東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計において I は1～3月、II は4～6月、III は7月～9月、IV は10～12月を示す。

区 分	雇 用						そ の 他						
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)				
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	家計動向	企業動向	雇用関連	総合		
年 月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)					
【年次統計】													
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-	-
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-	-
令和4年	2.02	0.03	1.31	0.03	14,068	-5.0	7,855	5.8	-	-	-	-	-
令和5年	1.97	-0.05	1.27	-0.04	13,914	-1.1	8,331	6.1	-	-	-	-	-
令和6年	1.88	-0.09	1.18	-0.09	13,340	-4.1	8,626	3.5	-	-	-	-	-
【四半期統計】													
令和5年 II	-	-	-	-	3,513	0.8	2,018	3.2	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,796	-2.3	2,218	6.2	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,385	-1.9	2,159	4.5	-	-	-	-	-
令和6年 I	-	-	-	-	3,075	-4.5	2,038	5.3	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,280	-6.6	2,100	4.1	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,600	-5.2	2,299	3.7	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,385	0.0	2,189	1.4	-	-	-	-	-
令和7年 I	-	-	-	-	3,070	-0.2	1,985	-2.6	-	-	-	-	-
【月次統計】													
令和5年1月	2.11	0.05	1.45	0.05	1,093	0.4	625	4.9	-	-	-	-	-
2月	1.88	0.01	1.45	0.03	1,052	2.4	594	18.3	55.0	39.6	55.0	51.8	-
3月	1.74	-0.35	1.34	-0.03	1,075	-5.0	717	10.4	-	-	-	-	-
令和5年4月	1.50	-0.06	1.15	-0.09	1,083	-2.3	663	2.5	-	-	-	-	-
5月	1.61	-0.02	1.10	-0.09	1,202	10.9	702	5.4	61.3	45.3	50.0	56.9	-
6月	1.91	-0.48	1.13	-0.10	1,228	-4.9	653	1.7	-	-	-	-	-
7月	2.04	-0.16	1.18	-0.09	1,258	0.2	733	6.4	-	-	-	-	-
8月	2.13	0.18	1.22	-0.08	1,326	-3.1	800	10.1	56.1	36.7	53.6	51.8	-
9月	2.12	-0.07	1.26	-0.02	1,212	-3.8	684	1.9	-	-	-	-	-
10月	2.09	-0.09	1.32	0.03	1,225	2.3	721	2.3	-	-	-	-	-
11月	2.43	0.22	1.38	0.02	1,111	-2.5	719	5.8	54.2	38.3	50.0	50.4	-
12月	2.37	-0.20	1.41	-0.01	1,049	-5.8	719	5.6	-	-	-	-	-
令和6年1月	1.95	-0.16	1.42	-0.03	1,057	-3.3	660	5.6	-	-	-	-	-
2月	2.09	0.21	1.39	-0.06	1,044	-0.8	649	9.2	56.5	40.4	43.8	52.4	-
3月	1.81	0.07	1.33	-0.01	974	-9.4	729	1.8	-	-	-	-	-
4月	1.46	-0.04	1.20	0.05	1,045	-3.5	696	4.9	-	-	-	-	-
5月	1.69	0.08	1.14	0.04	1,100	-8.5	720	2.5	54.7	42.3	40.0	51.1	-
6月	1.72	-0.19	1.10	-0.03	1,135	-7.6	685	4.9	-	-	-	-	-
7月	2.19	0.15	1.17	-0.01	1,234	-1.9	764	4.1	-	-	-	-	-
8月	1.95	-0.18	1.17	-0.05	1,181	-10.9	811	1.3	49.5	37.5	58.3	47.9	-
9月	1.76	-0.36	1.17	-0.09	1,185	-2.2	724	5.9	-	-	-	-	-
10月	1.95	-0.14	1.14	-0.18	1,217	-0.7	751	4.0	-	-	-	-	-
11月	2.18	-0.25	1.20	-0.18	1,081	-2.7	730	1.6	49.0	45.0	43.8	48.1	-
12月	2.31	-0.06	1.25	-0.16	1,087	3.6	708	-1.6	-	-	-	-	-
令和7年1月	2.03	0.08	1.26	-0.16	1,063	0.6	660	-0.1	-	-	-	-	-
2月	2.10	0.01	1.26	-0.13	1,006	-3.6	611	-5.8	49.0	44.4	43.8	48.0	-
3月	1.60	-0.21	1.18	-0.15	1,001	2.8	714	-2.2	-	-	-	-	-
出典：	ハローワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業戦略課（H30.1調査開始）景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				

2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和7年第Ⅰ四半期（1～3月）の状況）

（1） C I（コンポジット・インデックス）

① 概要

3月のCIは、先行指数が121.8、一致指数が144.5、遅行指数が138.0となった。

② 指数別の動向（指数は令和2年の水準を100とする）

【先行指数】 3月は121.8ポイントで、3ヵ月振りに低下した。

寄与度がプラスの指標は、新設住宅着工戸数（3ヵ月連続）等の2指標、マイナスの指標は、新規求人倍率（3ヵ月振り）、鉱工業在庫率指数（逆）（2ヵ月連続）等の6指標であった。

【一致指数】 3月は144.5ポイントで、3ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、公共工事受注額（2ヵ月連続）、鉱工業生産指数（2ヵ月連続）等の5指標、マイナスの指標は、観光施設利用者指数（2ヵ月連続）、有効求人倍率（5ヵ月振り）等の4指標であった。

【遅行指数】 3月は138.0ポイントで、3ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業在庫指数（2ヵ月連続）、法人市民税調定額（2ヵ月振り）等の4指標、マイナスの指標は、いわき市中央卸売市場取扱高（4ヵ月連続）、入湯税調定人員（2ヵ月振り）等の3指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（令和2年=100）

区 分	令和6年									令和7年			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
先行指数（C I）	120.4	121.2	115.0	124.5	121.6	121.6	119.7	121.1	119.4	128.1	130.8	121.8	
前月差(ポイント) (寄与度合計)	7.95	0.78	-6.23	9.58	-3.0	0.00	-1.87	1.46	-1.76	8.71	2.66	-8.93	
先行系列寄与度内訳	1. 自動車新規登録台数	4.07	1.05	1.59	3.59	-0.87	-0.09	-0.89	-1.24	-1.03	0.06	1.17	-1.68
	2. 新設住宅着工戸数	2.13	-0.51	-0.97	-1.84	1.80	-0.84	-3.42	2.60	-0.19	0.44	1.61	1.83
	3. 建築確認申請受付件数	0.36	0.94	-4.90	3.17	0.22	-1.07	0.10	-0.94	0.10	3.16	-1.52	-0.76
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	1.13	-1.06	0.65	-0.38	-0.83	2.08	-0.34	0.24	0.42	2.27	-0.77	-2.03
	5. 中小企業DI（全業種）	0.08	0.09	-0.48	0.08	0.08	2.03	0.03	0.03	-0.84	0.13	0.13	-1.69
	6. 新規求人倍率	-0.14	0.40	-2.48	4.58	-2.68	-2.50	2.09	0.38	-0.60	2.21	1.72	-4.98
	7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.04	-0.49	-0.06	-0.06	-1.15	-0.04	-0.04	0.02	-0.04	-0.04	-0.10	-0.08
	8. 一致指数トレンド成分	0.37	0.37	0.42	0.45	0.46	0.42	0.59	0.36	0.41	0.50	0.40	0.47
一致指数（C I）	146.5	141.0	145.6	145.4	145.2	142.7	141.5	140.3	140.4	139.3	139.0	144.5	
前月差(ポイント) (寄与度合計)	5.25	-5.45	4.57	-0.25	-0.14	-2.51	-1.17	-1.26	0.13	-1.09	-0.30	5.53	
一致系列寄与度内訳	1. 公共工事受注額	0.17	0.60	0.22	0.14	0.34	0.82	-1.65	-0.65	-0.73	-1.03	0.17	2.59
	2. 観光施設利用者指数	0.21	-0.70	1.13	-0.08	0.35	0.05	-0.42	0.40	-0.78	1.06	-0.07	-0.57
	3. 大型小売店等販売額	1.36	0.27	1.07	-2.67	1.66	-1.17	0.20	0.74	-0.74	1.01	-0.07	1.43
	4. 鉱工業生産指数	1.69	-2.63	0.56	-1.74	0.80	0.00	1.13	-2.06	2.12	-1.03	0.44	1.44
	5. 鉱工業出荷指数	1.04	-2.62	0.25	0.43	-0.90	0.54	-0.13	-0.04	1.88	-2.01	-0.18	0.40
	6. 小名浜港輸出入通関実績	0.64	-0.77	1.06	-0.20	0.29	-0.24	0.57	-0.27	0.21	1.22	-0.76	-0.27
	7. いわき市中小企業融資残高	-0.86	1.16	1.84	2.55	-1.24	-2.68	0.52	0.99	-1.37	-1.04	0.13	1.41
	8. 有効求人倍率	0.38	-0.30	-1.90	1.00	-0.57	-0.31	-1.28	0.15	0.08	0.19	0.59	-0.57
	9. 高速道路出入交通量	0.62	-0.46	0.34	0.32	-0.87	0.48	-0.12	-0.51	-0.54	0.54	-0.55	-0.34
遅行指数（C I）	148.2	135.9	134.2	134.9	133.8	130.7	132.2	137.5	140.9	132.5	132.2	138.0	
前月差(ポイント) (寄与度合計)	7.24	-12.35	-1.65	0.69	-1.11	-3.11	1.53	5.26	3.39	-8.33	-0.28	5.78	
遅行系列寄与度内訳	1. 入湯税調定人員	1.99	-2.57	-1.29	1.67	0.06	-0.31	-0.33	0.67	-1.22	-1.02	0.57	-0.21
	2. いわき市中央卸売市場取扱高	-0.74	-1.19	-2.00	0.89	-4.19	3.95	-1.09	3.00	-1.19	-0.26	-0.04	-1.27
	3. 鉱工業在庫指数	-0.28	-4.59	-0.54	1.33	-0.50	-2.03	0.22	-0.51	2.88	-4.37	0.63	3.37
	4. いわき市中小企業融資利率	4.33	-3.55	2.65	-4.18	1.15	-2.94	3.99	1.94	1.81	-4.24	-1.04	0.45
	5. 法人市民税調定額	1.67	-0.60	-1.09	1.38	-0.22	0.79	-1.13	-0.66	1.19	0.11	-0.60	3.06
	6. 雇用保険受給者実人員（逆）	-0.20	-0.29	0.14	-0.90	2.08	-3.04	-0.77	0.42	-0.56	0.90	-0.22	-0.12
	7. 一致指数トレンド成分	0.46	0.44	0.48	0.51	0.50	0.46	0.64	0.40	0.48	0.55	0.41	0.50

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

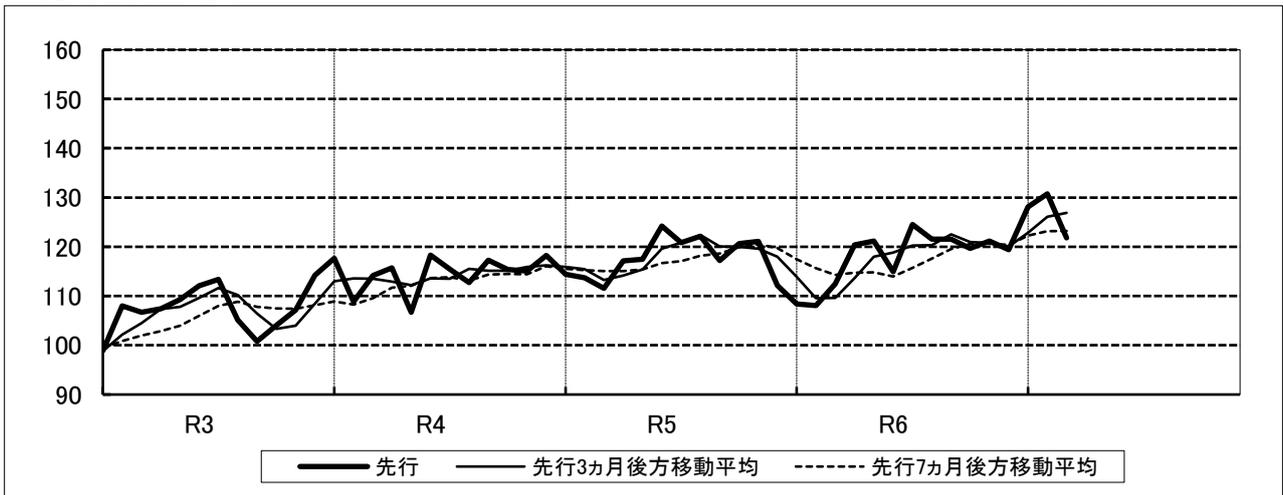
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

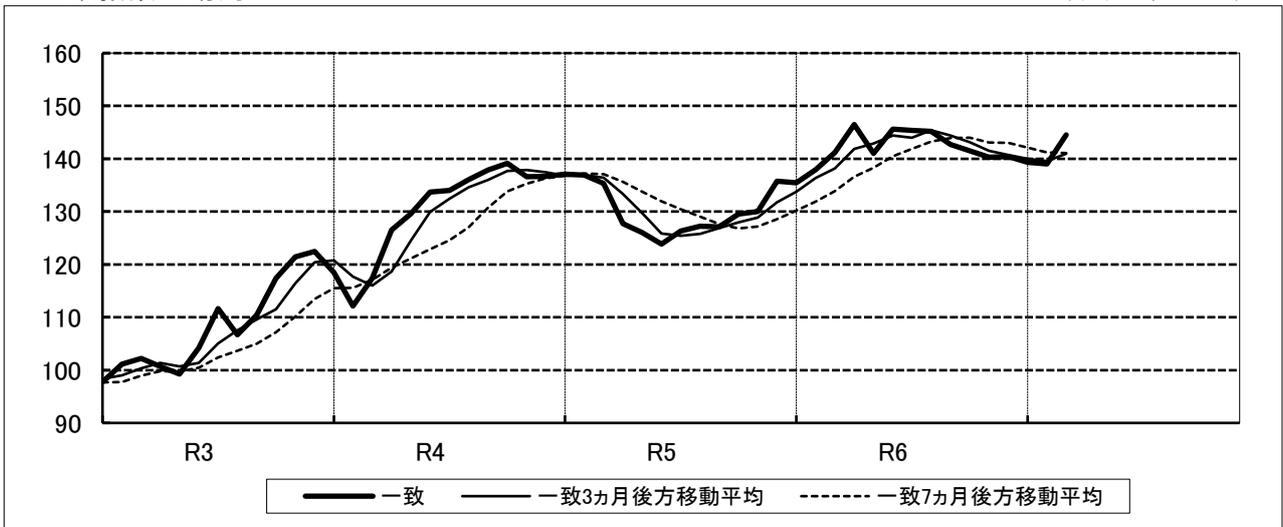
・先行指数の推移

(令和2年=100)



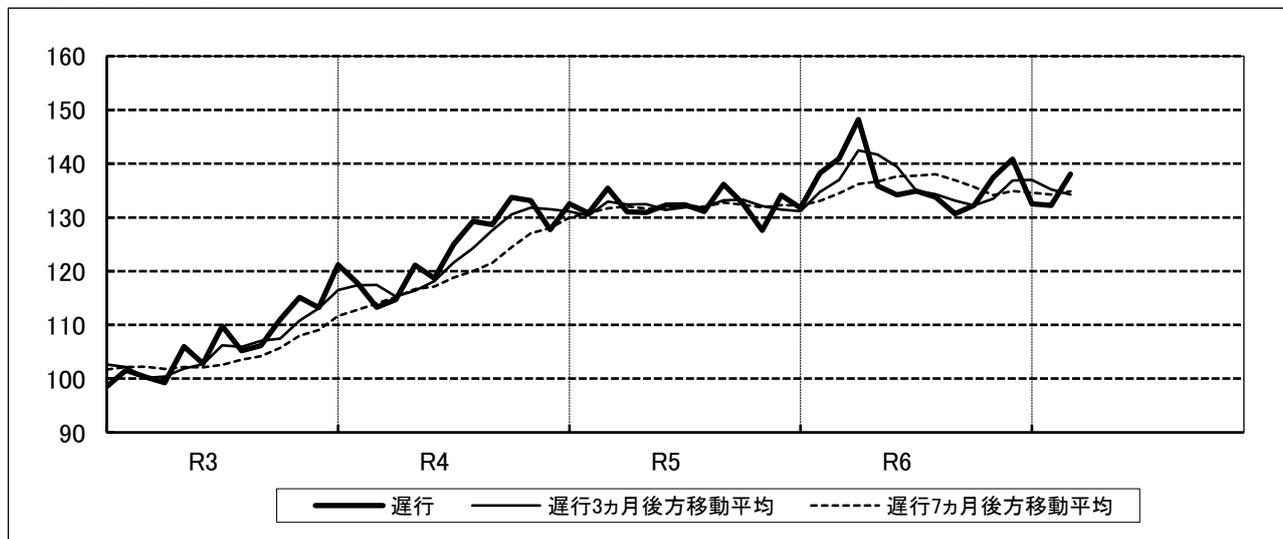
・一致指数の動向

(令和2年=100)



・遅行指数の動向

(令和2年=100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
28	120.9	113.9	106.9	115.7	114.7	109.0	116.5	110.5	105.3	111.4	110.8	115.1
29	109.2	112.7	113.8	116.9	113.9	122.3	114.1	120.5	123.2	114.9	114.5	121.0
30	118.5	115.5	112.6	114.2	115.5	115.3	114.6	113.0	108.6	112.0	117.0	113.3
1	110.9	117.1	115.0	111.3	113.0	113.8	108.7	109.2	110.9	103.2	103.3	109.3
2	109.2	106.8	102.7	94.8	94.3	94.8	98.3	99.0	101.2	101.3	98.0	99.6
3	98.9	108.0	106.7	107.4	109.3	112.1	113.4	105.1	100.8	104.0	107.1	114.2
4	117.6	108.9	114.1	115.7	106.7	118.3	115.5	112.7	117.3	115.4	115.1	118.3
5	114.4	113.7	111.6	117.2	117.5	124.2	120.9	122.1	117.2	120.6	121.1	112.2
6	108.4	108.1	112.4	120.4	121.2	115.0	124.5	121.6	121.6	119.7	121.1	119.4
7	128.1	130.8	121.8									

・一致指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
28	134.2	132.7	124.3	128.4	124.0	128.5	129.9	125.0	128.7	134.8	138.5	140.1
29	136.7	136.7	137.8	136.3	137.7	136.1	129.8	131.5	129.8	126.8	129.3	133.2
30	127.7	126.3	123.1	120.7	120.7	115.2	114.5	114.8	115.0	112.7	109.2	106.4
1	106.9	109.3	111.4	113.6	110.3	109.2	105.3	109.0	108.8	102.4	109.5	109.0
2	108.8	108.7	105.0	98.8	96.0	96.7	100.5	93.8	95.0	99.4	99.2	98.1
3	97.7	101.1	102.2	100.7	99.2	104.2	111.6	106.7	110.4	117.4	121.4	122.4
4	118.5	112.1	117.4	126.5	129.6	133.7	134.0	136.1	137.8	139.2	136.6	136.7
5	137.1	136.9	135.3	127.8	126.0	123.9	126.3	127.2	127.1	129.5	130.0	135.8
6	135.5	137.9	141.2	146.5	141.0	145.6	145.4	145.2	142.7	141.5	140.3	140.4
7	139.3	139.0	144.5									

・遅行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
28	139.6	145.2	139.1	137.6	134.5	132.2	131.7	133.6	130.5	133.3	129.2	127.6
29	131.7	122.5	128.3	123.9	118.3	117.4	116.4	113.2	118.4	114.9	117.7	120.9
30	114.5	114.8	120.8	117.5	125.0	120.6	117.1	117.5	121.7	117.6	114.5	111.4
1	112.5	110.5	109.2	104.8	102.6	105.8	104.2	106.8	100.8	102.2	101.1	97.2
2	101.3	99.9	99.3	96.5	96.6	93.1	98.5	99.6	102.3	103.7	103.0	106.3
3	98.5	101.6	100.3	99.3	106.0	102.8	109.8	105.2	106.1	111.0	115.1	113.2
4	121.2	117.8	113.3	114.7	121.1	118.7	125.0	129.3	128.7	133.7	133.1	127.7
5	132.5	130.8	135.5	131.0	130.9	132.3	132.4	131.1	136.1	132.6	127.6	134.1
6	131.8	138.2	141.0	148.2	135.9	134.2	134.9	133.8	130.7	132.2	137.5	140.9
7	132.5	132.2	138.0									

(2) DI (デフレーション・インデックス)

① 概要

【先行指数】 3月は、42.9%と3ヵ月振りに50%を下回った。

【一致指数】 3月は、55.6%と2ヵ月連続で50%を上回った。

【遅行指数】 3月は、33.3%と2ヵ月連続で50%を下回った。

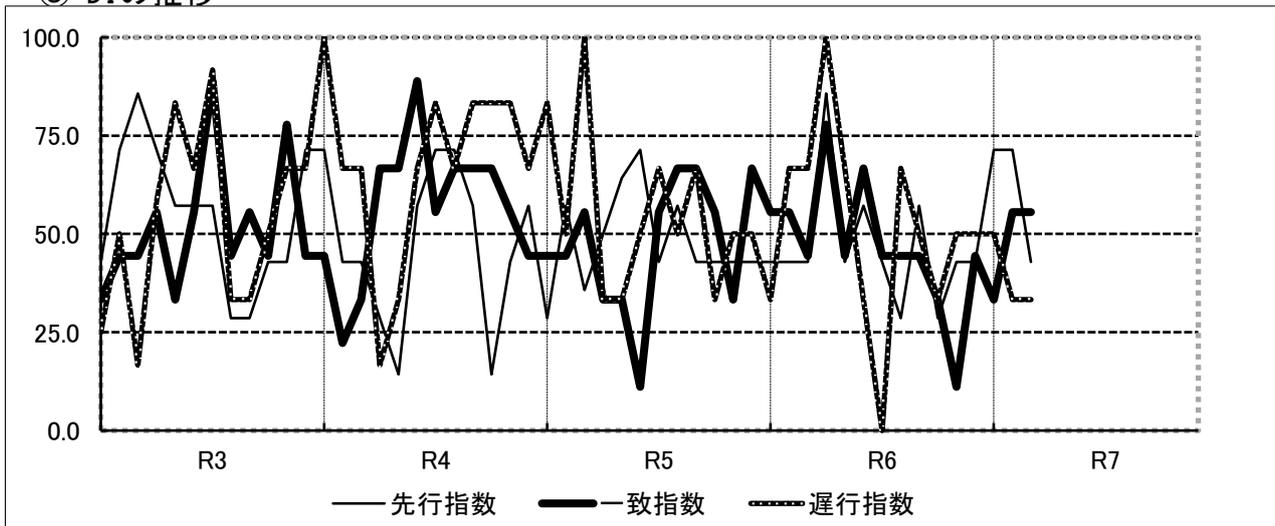
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (-景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

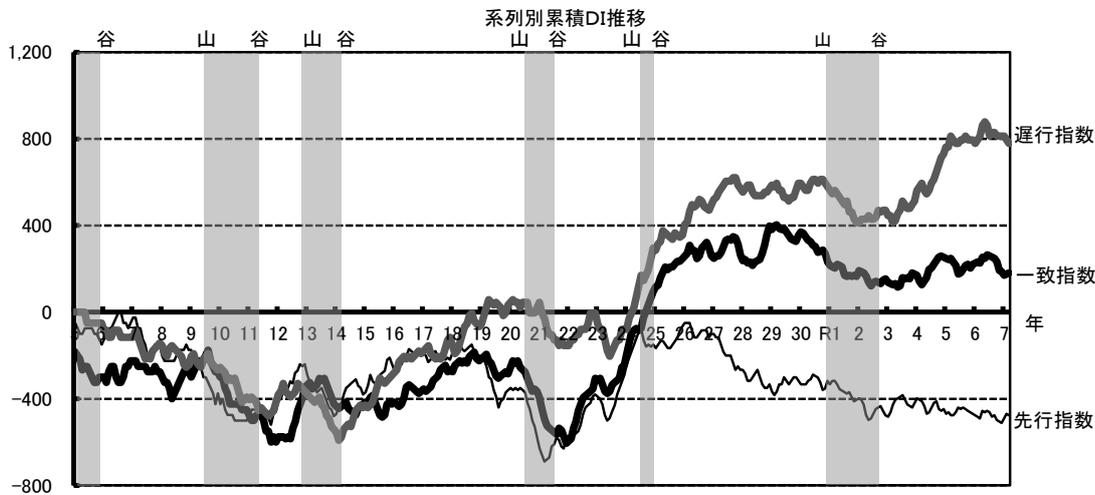
区 分	令和6年												令和7年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1	2	3
先行指数 (D . I)	85.7	42.9	57.1	42.9	28.6	57.1	28.6	42.9	42.9	71.4	71.4	42.9			
一致指数 (D . I)	77.8	44.4	66.7	44.4	44.4	44.4	33.3	11.1	44.4	33.3	55.6	55.6			
遅行指数 (D . I)	100.0	66.7	33.3	0.0	66.7	50.0	33.3	50.0	50.0	50.0	33.3	33.3			

注)DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(6指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方向性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

-景気動向指数利用の手引き-

(1) 景気動向指数の概要

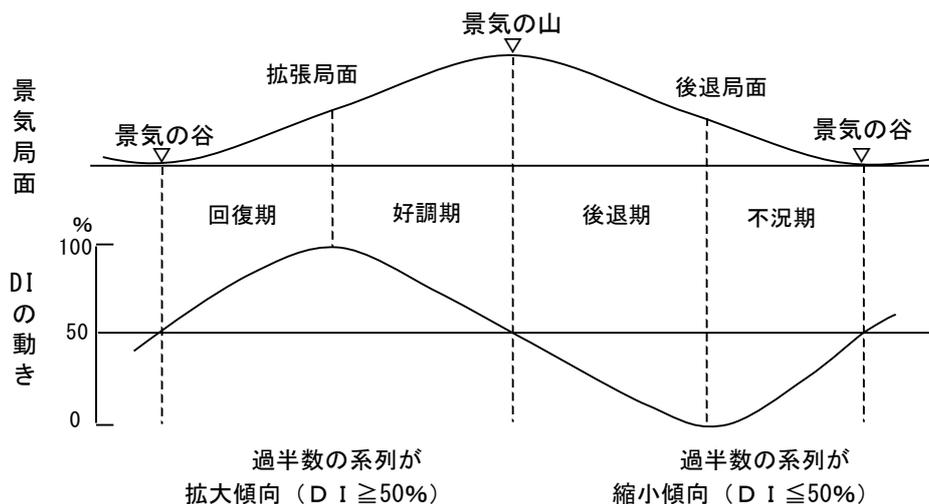
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方角性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

(2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している。
(詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/ip/stat/di/menu_di.htmlを参照)。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 9 = 0.333$ (DI=33.3%) と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10.	R2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項 目		内 容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合ー減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワーク平
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業チャレンジ課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第I四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業チャレンジ課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業チャレンジ課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通過して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワーク平
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	5 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税込面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	6 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワーク平

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均
 逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費は、消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・輸出は、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・生産は、横ばいとなっている。 ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、このところおおむね横ばいとなっている。 ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。 ・消費者物価は、上昇している。 <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。</p> <p>(内閣府「月例経済報告」令和7年5月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、足踏み状態となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費……一部に持ち直しの動きがみられる。 ・建設需要……一部に弱い動きがみられる。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……一部に弱い動きがみられる。 ・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数、負債総額はともに前年を下回った。預金残高は前年を下回り、貸出残高は前年を上回った。 <p>(福島県「最近の県経済動向」令和7年5月公表分)</p>

2 景気動向指数(CI)

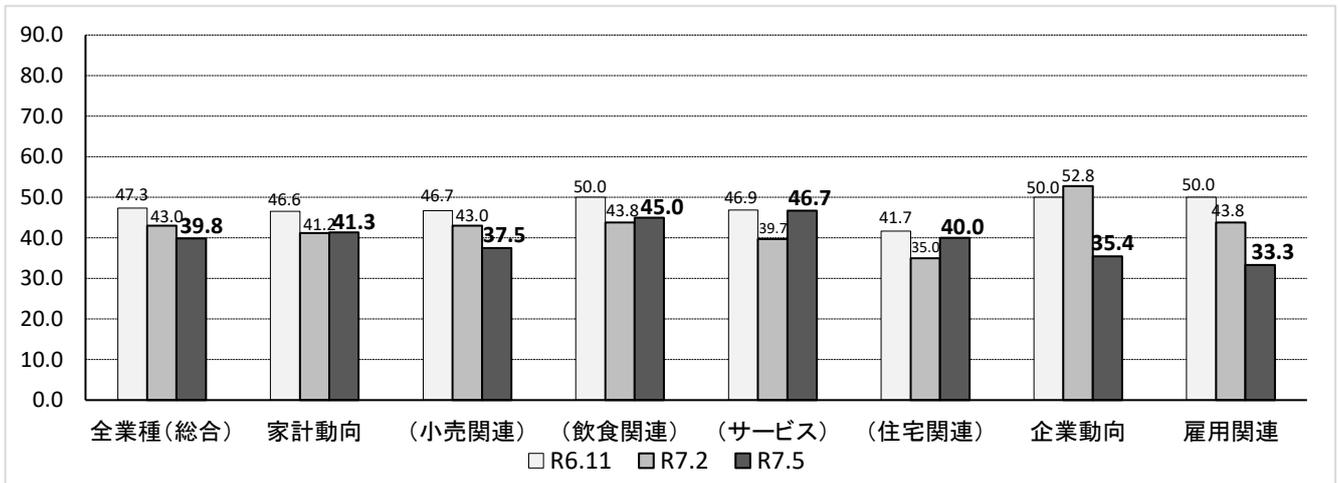
(1) 国の動向	<p>① 3月のCI(速報値・令和2(2020)年=100)は、先行指数:107.7、一致指数:116.0、遅行指数:110.8となった。</p> <p>先行指数は、前月と比較して0.5ポイント下降し、2ヵ月連続の下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.07ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.04ポイント上昇し、10ヵ月ぶりの上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月と比較して1.3ポイント下降し、4ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.10ポイント下降し、6ヵ月ぶりの下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.28ポイント上昇し、8ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月と比較して0.1ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.40ポイント上昇し、12ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.27ポイント上昇し、14ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>② 一致指数の基調判断 景気動向指数(CI一致指数)は、下げ止まりを示している。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和7年5月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概 括</p> <p>3月の景気動向指数(CI:コンジット・インデックス、R2年=100)は、先行指数114.6ポイント、一致指数114.6ポイント、遅行指数112.9ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(114.1ポイント)を0.5ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月(105.5ポイント)を9.1ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月(114.1ポイント)を1.2ポイント下回り、2ヵ月連続の下降となった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <p>寄与度がプラスの系列</p> <p>生産財出荷指数、鉱工業生産指数、有効求人倍率、雇用保険受給者実人員、百貨店・スーパー販売額(既存店)、所定外労働時間指数(全産業)</p> <p>寄与度がマイナスの系列</p> <p>最終需要財出荷指数、建築着工床面積(鉱工業)</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」令和7年5月公表分)</p>

II いわき市景気ウォッチャー調査：令和7年5月時点

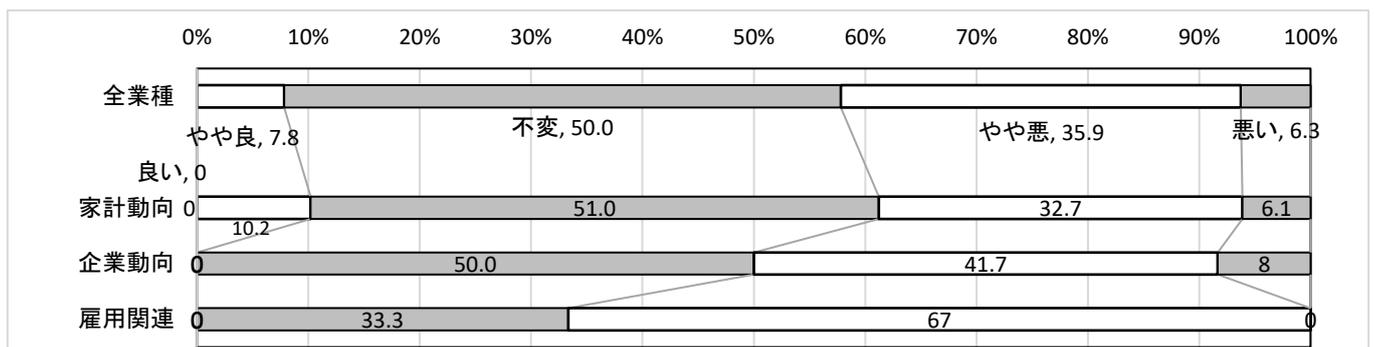
1 景気の現状について

(1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは39.8と、前回より3.1ポイント低下した。内訳では、家計動向が上昇し、企業動向、雇用関連が低下した。
- 主要業種別では、家計動向が41.3と前回より0.2ポイント上昇した。家計の内訳では、飲食、サービス、住宅が上昇し、小売が低下した。企業動向は35.4と17.4ポイント低下し、雇用関連は33.3と10.4ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は0%であり、「やや良くなっている」が7.8%、「変わらない」が50.0%、「やや悪くなっている」が35.9%、「悪くなっている」が6.3%となった。



(2) 現状判断の理由

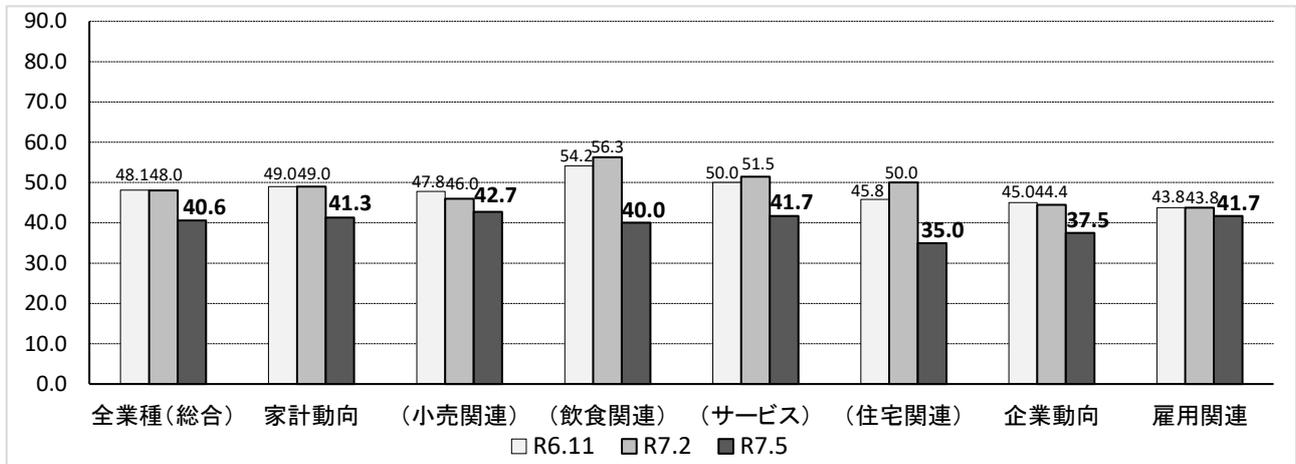
現状判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「取引先の様子」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが挙げられた。

項目(家計)					項目(企業)					項目(雇用)				
良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計	
1. 来客者数の動き	2	9	8	19	1. 受注量や販売量	0	2	2	4	1. 求人数の動き	0	0	1	1
2. 販売量の動き	2	10	6	18	2. 受注価格や販売価格	0	1	1	2	2. 求職者数の動き	0	0	0	0
3. 単価の動き	1	1	2	4	3. 取引先の様子	0	3	3	6	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	3	3	6	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	1	2
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0
6. その他	0	2	0	2										
合計	5	25	19	49	合計	0	6	6	12	合計	0	1	2	3

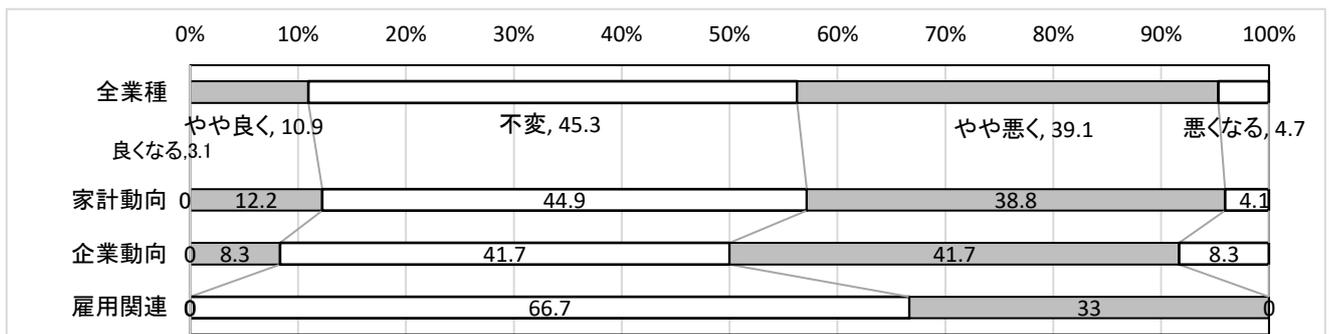
2 景気の先行きについて

(1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは40.6と、前回より7.4ポイント低下した。内訳では、家計動向、企業動向、雇用関連のすべてで低下した。
- 主要業種別では、家計動向が41.3と前回より7.7ポイント低下した。家計の内訳では、小売、飲食、サービス、住宅のすべてで低下した。企業動向は37.5と6.9ポイント低下し、雇用関連は41.7と前回より2.1ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は3.1%であり、「やや良くなる」が10.9%、「変わらない」が45.3%、「やや悪くなっている」が39.1%、「悪くなっている」が5%となった。



(2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「受注量や販売量」「取引先の様子」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	2	10	5	17	1. 受注量や販売量	1	1	2	4	1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 販売量の動き	3	5	4	12	2. 受注価格や販売価格	0	1	1	2	2. 求職者数の動き	0	0	0	0
3. 単価の動き	0	0	6	6	3. 取引先の様子	0	2	2	4	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	5	5	10	4. 競争相手の様子	0	0	1	1	4. 周辺企業の動き	0	1	1	2
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	1	0	1	5. その他	0	0	0	0
6. その他	1	2	1	4										
合計	6	22	21	49	合計	1	5	6	12	合計	0	2	1	3

3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

(街の様子)

- 駅前には閉店する店も増え人通りがまた減少している。
- 客単価・客数・お客様の様子に変化が見られる。
- 依然として商店街の来街者の減少、また、物価高騰もあり商売には厳しい状況である。
- 街はいつも通り静かである。

(物価高騰・経費増)

- 人件費、原材料が高騰して経費を圧迫している。「これ以上、価格転嫁はできない」
- 小売りの買上げ率、買上げ単価とも減少気味。物価高など先行き不透明になっているなか買回り品は消費が今後とも懸念される。
- 米の価格の異常な高騰には販売側としても大変困っている。
- スタンド業務については、車の燃費性能向上や数量限定給油等節約傾向にある。
- 全国的にコスト（食材も含む）がアップして地方では追いついていけない。
- とにかく物価高で、何事においても大変である。
- 令和7年4月16日より料金改訂（値上げ）

(支援制度の重要性と課題)

- プレミアムタクシー券が有難かった。お客様も大変よろこんでいる。また二種免許の支援金も本当に有難かった。
- 補助金・助成金の申請支援をしているが、どのような業種業態も補助金・助成金の相談が9割を占めている。補助金＝簡単にもらえる、と勘違いしている事業者が最近多くなってきている。
- 補助金は必ず受給できるものではなく、不採択になった場合を想定していない経営には懸念がある。

- いわき市景気ウォッチャー調査の概要 -

(1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

(2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連72人、企業動向関連22人、雇用関連8人の合計102人を調査客体とする。
今回（令和7年2月）の調査の回答数は64人（有効回答率62.7%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	72人	71%	49人	
小売関連	31人	30%	24人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	8%	5人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	24人	24%	15人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	9%	5人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	22人	22%	12人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	8%	3人	人材派遣、職業紹介等
合計	102人	100%	64人	

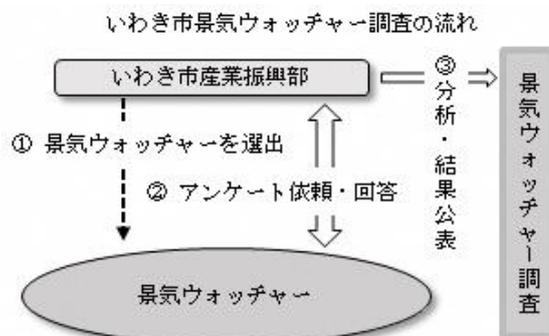
(3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

(4) 調査方法

いわき市産業チャレンジ課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業チャレンジ課と外部調査機関（株式会社システムランニング）が協力して行う。調査結果は、産業チャレンジ課が原則として調査の翌月に公表する。



(5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりD Iを算出する。

D Iは50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）	
令和 年 月 日	
ご回答者	
ご所属・お名前 _____ 様	
あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。	
該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。	
【質問1】 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
【質問2】 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【質問3】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、2～3ヵ月先は、今より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
【質問4】 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】 	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業チャレンジ課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 7 4 7 6 (直通)
e-mail : sangyochallenge@city.iwaki.lg.jp
